

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:平成 年 月 日

アンケート期間:平成 4年 2月 10日～平成 4年 3月 10日

事業所名 ジーニアスタディ緑校

保護者等数(児童数)

回収数 37

割合 80%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	5	0	7	実際に活動している姿を見たことがない為分からない。	コロナが落ち着いたら企画していきます。SNS等で伝えていけるようにしていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	23	2	0	12		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	4	0	13	荷物を置く場所はわかりやすく綺麗に整頓されていると思う。	今後も荷物等、整理整頓をしていき忘れ物がないよう努めていきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	25	2	0	10		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	32	4	0	1	工夫はされているが新しいプログラムの内容がいまいち解らなく、子供も理解していない	子どもたち全員が楽しめるように活動内容を変えている現状がある為、困惑していかないように工夫していきたい。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	32	2	0	3	コロナ禍での交流は難しい為、コロナ後の交流に期待しています	コロナが落ち着いたら企画していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	2	0	2		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	1	1	2		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	8	0	20		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33	2	2	0		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	2	1	3		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	4	8	10		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	3	0	2	ある時とない時がある	SNS以外にも、送迎時などにお伝えできるように努めていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	20	7	5	5			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	9	9	13	父母会や保護会がそもそもあるのか分からない、コロナ感染対策等、対策を行ってくれているとは思いますが具体的な内容がわからない	父母会に関しましては、コロナが落ち着いてきたら企画していきます。感染対策に関してSNSでも見えるようにしていきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	2	1	2		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	31	3	1	2	思春期の為、デイに行くことを拒み始めている。	スタディに来たいと思えるような活動内容を考えていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	30	3	0	4	活動内容がもう少し少なければ最高です。	今後も楽しんでもらえるようにSNS等でも伝えていけるようにしていきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。